



グローバルセンターだより

Glocal Center

倉吉市観光プロモーション動画・ふるさとムービー『ありがとう』上映会



5月30日(木)、交流センター中講義室において、倉吉市観光プロモーション動画・ふるさとムービー『ありがとう』上映会が開催されました。このムービーは、倉吉市暮らしよし未来アドバイザーである羽原大介^{はばら だいすけ}氏の脚本・監督のもと、昨年春より制作が進められ、このたび完成を記念して羽原氏をゲストにお招きした上映会が行われました。

当日は、倉吉市民の方や本学の学生・教職員あわせて150名が参加。笑いあり涙ありのムービー鑑賞の後は、羽原氏と鳥取看護大学1年生の加藤あいさん、4年生の田部ほのかさんによるトークセッション「アフタートーク『ムービー撮影ココだけの話』」が行われ、制作にまつわる秘話を楽しみました。

第12回 新入生歓迎交流会ケーキバイキングを開催しました

5月11日(土)、倉吉市上井コミュニティセンターで、上井商工連盟主催の新入生歓迎交流会が開催されました。このイベントは、地元商店街の皆さまとの交流を通じて、看護大・短大の新入生に倉吉の良さを知ってもらうために実施され、今年で12回目を迎えました。

当日は、看護大生と短大生あわせて80名が参加し、色とりどりのケーキやお菓子を食べながら、上井商工連盟や来賓の方々との親睦を深めました。会の中盤ではマジックショーやビンゴゲームが企画され、会場はおおいに盛り上がりました。



石谷精華堂さんより今年も打吹公園だんごをいただきました!



6月17日(月)、倉吉市の株式会社石谷精華堂さんより、鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生へ打吹公園だんご100本が贈られました。この企画は、6月16日の「和菓子の日」にちなんで、「地元の学生に倉吉銘菓を味わってほしい」という石谷精華堂さんのご厚意により実現しました。

学生たちは、「普段食べる機会がないので嬉しい」「個包装のパッケージがかわいい」などと言いながら、とても嬉しそうに打吹公園だんごを受け取っていました。

石谷精華堂さん、ありがとうございました!

とっとりプラットフォーム5+αの取組み

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターへ行ってきました!

9月4日(水)、とっとりプラットフォーム5+αの取組みのひとつである“若者による地域防災活動の推進”事業の共同防災研修として、各高等教育機関の防災サークルの皆さんと一緒に「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」を視察しました。当日は、体験型の展示やワークショップなどを通じて、防災・減災の技術や地域コミュニティとの連携、災害に備えた知識や心構えなどを学び、改めて災害の恐ろしさと防災に対する意識を再認識する時間になりました。



～地域で活動 地域で対話～

第23回 SUN-IN未来ウォーク

6月1日(土)・2日(日)、鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生18名が、鳥取県中部を舞台に開催された「第23回 SUN-IN未来ウォーク」に運営スタッフとして参加しました。

1日(土)は真夏のように暑く、2日(日)は時おり雨が降る天候でしたが、学生たちは司会や会場アナウンス、コース内のおもてなし、ゴールでのお出迎えなどさまざまな活動を行いました。



今年度も多くのボランティアの依頼があり、たくさんの学生がボランティア活動に参加しています。学生たちはボランティア活動を通して、大学では得られない学びを感じています。感想の一部を紹介します。

- ・地域の方とお話をする中で、たくさんの地域の方に支えていただきながら生活していることを学んだ。
- ・地域の活性化や発展が住民の生きる原動力であることを実感した。地域の一員として地域の発展のために、看護職として貢献する重要性を学んだ。
- ・自主的に何かやれることがないか行動すること。初めて出会う人とも積極的に関わると知らない話などを聞いて知識が増えた。

トコトンファスト ToCoToN FAST出動!

6月29日(土)、倉吉消防署と自衛隊倉吉地域事務所の皆さんと合同で、“防災意識を高めること”をテーマに「よりん彩記念日フォーラム2024 ～それいいね!自分らしくあなたらしく～」に防災・減災の体験・展示ブースを出展しました。当日、ToCoToN FASTのメンバーは、身近なモノを使った防災グッズ作成コーナーなどを担当し、来場者の皆さんに対応しました。消防署や自衛隊と共同した活動を行うのは初めての試みでしたが、サークルメンバーにとっても大変勉強になりました。

また、7月7日(日)には鳥取看護大学・鳥取短期大学の第2回オープンキャンパスのサークル紹介で、水消火器を使った防災体験を実施しました。当日は、多くの来場者の方に防災体験を楽しんでいただき、サークルの紹介と併せて、防災に備える心構えを学んでいただく良い機会になりました。



地域活動サークルが発足!

今年の春に結成された「地域活動サークル」。6月20日(木)に鳥取短期大学附属こども園の園児と一緒に「ひまわりの絆プロジェクト」のひまわりの種を植えました。「ひまわりの絆プロジェクト」とは、全国の警察署が交通安全活動のために育てておられるひまわりです。

また、7月13日(土)には倉吉市の白壁土蔵群周辺の清掃活動を行いました。今後もさまざまなイベントを企画、参加していきます。

「コレクション宅配便」を開催!

～学生が美術作品をファシリテーションしました!～

5月30日(木)と6月5日(水)に鳥取県地域社会振興部主催「コレクション宅配便」が開催され、鳥取県立博物館所蔵の美術品数点がアリーナに展示されました。両日ともに学芸員の方に作品をファシリテーションしていただき、人によって見方が違うことやそれに気づいて新しい考え方や見方ができることを教わりました。

地域コミュニケーション学科の1年生は「交流とホスピタリティ」の授業で、“対話鑑賞”を合計5回学び、7月10日(水)は鳥取県立博物館で開催された「アートって、なに? ～ミュージアムで過ごす、みる・しる・あそぶの夏やすみ」の会場で、学生がファシリテーターになって県内2校の小学生を相手に対話鑑賞を行いました。元気いっぱいの子どもたちに戸惑いながらも、一生懸命に話を聞いて、求めていることを理解して説明しようとする学生たちの姿が印象的でした。



～海外とのつながり～

カンウォンド 韓国・江原道の学生との交流

韓国・江原道と鳥取県の友好交流30周年記念事業の一環として、ウォーキングによる青少年の交流事業が実施されることとなり、鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生6名が韓国の学生と交流しました。

第1弾として、5月31日（金）～6月2日（日）、学生たちは歓迎レセプション、SUN-IN未来ウォーク、三徳山投入堂の拝観等に参加し、翻訳アプリを使いながら、お互いにコミュニケーションをはかりました。

学生からは、「はじめは緊張したが、食事や自己紹介などをとおして徐々に仲良くなれた」「ウォーキングをとおして、外国や県外の方々に鳥取県や倉吉市中部の良さを知ってもらえるイベントだと感じた」などの感想が聞かれました。

第2弾は、10月に韓国・江原道を訪問し、原州国際ツーデーウォークに参加します！学生たちは今後、派遣に向けて研修や事前準備を重ねる予定です。



国際交流活動報告会

6月14日（金）、鳥取看護大学国際交流委員会主催の国際交流活動報告会を開催し、3月にサント・トーマス大学（フィリピン共和国マニラ市）を訪問した教職員3名が発表を行いました。この報告会では、来春開催予定の看護短期研修に向けてフィリピン共和国の歴史、文化、食事、マニラの日常生活について、現地の写真やエピソードを交えて紹介しました。学生からは「海外での看護活動に興味がある。ぜひ参加してみたい」という言葉も聞かれました。

鳥取大学「夏期日本語・日本文化研修プログラム」

7月11日（木）、鳥取大学「夏期日本語・日本文化研修プログラム」を受講する留学生11名が本学を訪問され、学内の見学を行いました。午後は、青山剛昌ふるさと館や白壁土蔵群周辺を散策し、鳥取県中部の魅力や食べ物を十分に楽しんでおられました。

残念ながら、大雨によりオンライン授業に変更となったため、学生との交流はできませんでしたが、令和元年度以来、コロナ禍を経てようやく開催することができました。



ソジン 崇仁医護管理専科学校夏季研修

7月15日（月）～19日（金）、崇仁医護管理専科学校（台湾・嘉義県）の夏季短期研修生を受け入れました。この研修は、今年4月に締結した学術協定に基づき、異文化理解や国際交流の機会の提供を目的として、両大学の国際交流委員会を中心となり企画しました。5日間という短い期間でしたが、台湾から来日した学生10名と教員2名は、学内見学ツアーや各学科の授業体験、学外研修（白壁土蔵群、鳥取砂丘、北栄町）などのさまざまなプログラムをとおして両大学の学生・教職員と交流を深めました。

台湾の学生からは「台湾で体験できないことがたくさん経験できた」「日本語や専門分野を学ぶ貴重な機会だった」「学生のみなさんがとても親切で楽しい時間だった」などの感想をいただきました。

この出会いを大切に、次回は台湾で再会し、さらに親交を深められることを楽しみにしています。

鳥取短期大学 松江地区同窓会を開催！

6月30日（日）、松江市のレストラン&ウェディング「LAUT」にて、松江地区同窓会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の流行で5年ぶりの開催となったため、約50名の参加者は、級友や先生方との再会を喜ぶとともに、同窓生との世代を越えた交流を楽しみました。

藤田学院創立50周年の記念映像の上映や山田修平理事長による短期大学の近況報告を聞き、学生時代を懐かしく感じられたようでした。



地域を舞台に！～踊って話して笑って～



第67回 三朝温泉キュリー祭 わいわいパレードに参加しました！

7月28日(日)、「第67回 三朝温泉キュリー祭」のわいわいパレードに参加しました。11名の教職員で連をつくり、パレード曲の「三朝小唄」～「新三朝音頭」～「ドドンパ」に身を委ねて、皆で楽しくわいわい♪三朝温泉街を踊り歩きました。今年初めて参加しましたが、鳥取看護大学・鳥取短期大学連は、見事！?に「フランス賞」を受賞しました。



第46回 倉吉打吹まつり 「みつぼし踊り大会」に参加しました



8月3日(土)、大学の地域貢献と情報発信を目的とし、「鳥取看護大学・鳥取短期大学・鳥取短期大学附属こども園踊り子連」として倉吉打吹まつりの伝統「みつぼし踊り大会」に出場しました。

当日は鳥取看護大学の学生も飛び入り参加し、総勢25名で踊りを披露。沿道の方々から多くのご声援をいただき、暑さも活気も最高潮!!他の参加チームの方々との交流も楽しみなが笑顔で元気よく踊りました。

今後も「地域とともに!」をモットーに、地域の活性化に向けた活動に積極的に取り組んでいきます。

鳥取市奥沢見公民館で「まちの保健室」を開催

7月25日(木)、鳥取市奥沢見公民館にて「まちの保健室」を開催しました。当日は11名の地域の方の参加があり、体脂肪、骨密度、血管年齢などの測定と健康相談を実施しました。また、鳥取看護大学の廣田颯香先生による「熱中症を起こさず夏を乗り切ろう」と題したミニ講話では、温度計で室温を測り、目で見て温度や湿度を確認することの大切さを改めて実感していただきました。

鳥取看護大学では地域に出かけて「まちの保健室」を開催するほか、鳥取看護大学キャンパスで毎月第3水曜日13:30から実施しています。詳しくはグローバルセンター(0858-27-0107)にお問い合わせください。



令和6年度 公開講座終了

「呼び起こそう、地域の底力」のテーマで5回にわたって開催した公開講座は、9月5日(木)をもって今年度の全てのプログラムが終了しました。コロナが5類に移行されて1年、地域がどのように再生してきたのか、あるいは再生されつつあるのか、改めて地域の持つ底力を考え、共に地域の未来を創造していったらとの思いでテーマを設定し開催しました。ライブ配信も含め、200名以上の方に受講していただきました。今後も、地域のみなさんに喜んでいただけるようなテーマを選定し、お届けしたいと考えています。



新センター長挨拶

こんにちは。

グローバルセンター長に就任しました田中響です。新しい挑戦にワクワクしています。これから皆様と一緒に地域と世界をつなぐ架け橋として活動できることを楽しみにしています。オープンで楽しい雰囲気を大切にしながら、全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします!



グローバルセンターを ご活用ください

グローバルセンターでは、大学見学会、講演会講師の依頼、学生へのボランティア依頼、教員の専門分野に関するご相談などに随時対応しています。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

《発行》 鳥取看護大学・鳥取短期大学グローバルセンター 〒682-8555 鳥取県倉吉市福庭854
TEL: 0858-27-0107 FAX: 0858-26-9138 E-mail: glocal@cygnus.ac.jp

《印刷》 鳥取県農協印刷